

広報 おだわら

ODAWARA PUBLIC INFORMATION

平成7年 6月15日
June 15, 1995 No.653

発行：小田原市役所
〒250小田原市萩窪300番地
毎月1・15日発行
編集：広報広聴課(☎33-1261)



梅の初収穫 五百年続く曾我の梅づくり

小田原市特産、梅の初収穫が、五月二十九日に曾我の梅林で行われました。当日は、あいにくの雨模様でしたが、雨がっぱを着た女性たちは丁寧に梅の実を摘んでいました。今年も、梅の実がふくむころ雨が多く寒かったことから、収穫期が例年より一週間ほど遅れたものの、収穫量は平年並の五トが見込まれています。十八日から二十日まで三日間、梅干し再生梅が城址公園内二の丸お休み処前で購入されます。時間は午前九時から。詳しくは、農政課☎1494にお問い合わせください。



成人学校スプリングセミナー 力がこもる抽選の手

五月二十四日、中央公民館で成人学校の申し込みが行われました。前回からはがきで事前申し込みができるようになったこともあり、今回は特に希望者が増えています。当日は、午前十時の受け付け前からたくさんの方がつめかけました。

いろいろな講座の中で、百回を迎えた今回は庭木の手入れや楽しく歌う発声講座、久能晴さんによるニュースの背景の講座に人気が集まっています。抽選の結果に一喜一憂する姿が見られました。

十月からはオータムセミナー、一月からはウインターセミナーが開かれます。気に入った講座がありましたら申し込んでください。

ページ 主な内容

- ② 市職員募集・市営住宅入居者募集・市長随想
- ③ 大きく育てる3基金・まいたうんればと
- ④⑤ 特集 高齢者の元気を支える・時のまろうど
- ⑥⑦ きらめき情報・けんこうコーナー
- ⑧ タウンセンターの要約募集

市職員を募集します

試験日程を例年より早めました



●提出先 職員課(市役所三階)
 ●第一次試験
 ①日時 七月三十日(日)
 午前九時～午後三時(終了時間には、職種によって異なる)
 ②会場 鹿嶋中学校、小田原駅西口徒歩十分
 ●第二次試験
 ①試験科目 学歴に応じた適性試験、専門試験または適性試験、性格検査(試験の出題分野は、小田原市職員の採用案内にて確認)
 ②第二次合格発表 八月中旬
 ●第三次試験 第一次試験合格者が対象

算します。そのほか、調整手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末・勤働手当などを、それぞれの支給条件に応じて支給します。
 ●問い合わせ 職員課 ☎2411

●条件に依りて支給します。
 ●問い合わせ 職員課 ☎2411

市は、職員を募集します。希望する方は、「小田原市職採用試験案内」をお受け取りください。案内は、市役所職員課の窓口のほか、支所、事務所と消防本部に用意してあります。
 ●申込受付 七月七日(金)午前八時三十分～午後五時
 *申し込みは、必ず本人で行い

●申込受付 七月七日(金)午前八時三十分～午後五時
 *申し込みは、必ず本人で行い

職員採用試験

職 種	年 齢	受 験 条 件	第1次試験科目
一般事務	15人以上	大学卒：昭和44年4月2日以降に生まれた方 短大卒：昭和46年4月2日以降に生まれた方 *いずれも平成5年3月卒業見込みの方を含む	教養・適性・性格
保育 幼稚園教諭	若干名	短大または普通学校の専門課程を平成8年3月に卒業見込みの方で、昭和48年4月2日以降に生まれた方	教養・適性・性格
実 務 士	若干名	資格(簿記、公簿記)は両方の免許)が公認	教養・適性・性格
保 健 師	若干名	学校教育法による大学の専門課程または保健師短期大学課程法による大学保健師課程、保健師養成所を卒業した方で昭和43年4月2日以降に生まれた方 *平成5年3月卒業見込みの方を含む *免許が必須	教養・専門・性格
土木技術	若干名	大学の専門課程を平成8年3月までに卒業または卒業見込みの方で、昭和44年4月2日以降に生まれた方	教養・専門・性格
機械技術	若干名	大学の専門課程を平成8年3月までに卒業または卒業見込みの方で、昭和44年4月2日以降に生まれた方	教養・専門・性格
演 講 員	若干名	大学卒：昭和44年4月2日以降に生まれた方 短大卒：昭和46年4月2日以降に生まれた方 *いずれも平成5年3月卒業見込みの方を含む *音楽・舞臺などの専攻の資格を有する	教養・適性・性格

注：短大生は、国家公務員1種試験に合格する専門学校(専修)第2年(上)から1600時間以上の履修を要する。

市営住宅の入居者を募集

今年募集する戸数は表のとおりですが、空家ができて、戸数が増えることがあり、受け付け以降にできる家も、選考により入居を決定するまで、表にない住宅への入居の申し込みを受け付けます。
 ●今回事業で九十三年度より入居定員がなくなり、次回十一月の募集時に改めて申し込みさせていただきます。
 ●募集のしおりと申込用紙は、市役所建築課(五階)、総合案内(二階)各支所、連絡所、駅前からとスポーツでお受け取りください。

●応募できるのは
 ○平成六年六月十三日以前から市内に住民登録を、一年

●申込用紙は、必ず本人で行い

●申込用紙は、必ず本人で行い

●申込用紙は、必ず本人で行い

●申込用紙は、必ず本人で行い

●申込用紙は、必ず本人で行い

●申込用紙は、必ず本人で行い

●申込用紙は、必ず本人で行い

●申込用紙は、必ず本人で行い

●申込用紙は、必ず本人で行い

●申込用紙は、必ず本人で行い

●申込用紙は、必ず本人で行い

●申込用紙は、必ず本人で行い

大きく育てる3基金



ふるさとみどり基金

昨年度は、市街地の歩道にフラワープランナーを設置、生け垣づくりの補助、住生活館としと文化会館、社会福祉基金を三基金として積み上げて始めてから九年が経ちました。

三基金は、市民協会のほか、寄附金や市の協賛からなり、その利子をもとに、各基金の目的にのぞいた事業を行っています。基本への寄付は、所得税法

ふるさと文化基金

昨年度は、北村透谷没後百年展・講演会、小田原文芸散歩、文化イベントや郷土の歴史・文化にふれる事業をしました。

今年度は、戦後五十年にあられた本「語り伝へる戦時中のかた小田原Ⅱ」、また、本市の近世史研究に指す役割を果たした故内田哲夫さんの文集の発行の補助をします。

このほか、昨年に引き続き市民劇團「やぶ芸術」の指導者・後援者の育成など、地域の歴史・文化を知り、育てる事業を進めています。

問い合わせ 文化交流課 ☎ 1706

社会福祉基金

昨年度は、社会福祉協議会を通じてひとり暮らしのお年寄りや障害者が多いが、もつと福祉の人を支援する、タイムリーな活動を展開する、市民らから思い、要望などがあふれるなど、市民の意見をうかがい、市民からの情報や直接くよる人物を登場させたい、生活感のある活動を展開させたい、そのほか、編集の工夫は、▽北条早雲の小田原城五十年

まいとうん れぽーと

生きていく情報誌

皆さんはこの「広報おだわら」を手にとり、どのような感想をお持ちでしょうか。市民の方から嬉しい意見や要望をもとに、広報広聴課にお話を伺った。

皆さんは、「広報おだわら」の「色使いや写真の活字など、工夫されているが、加減や効果はまだ把握できていない。紙面づくりをすれば、親しむ感を持ってはならないだろうか、もつと、市民の意見を聴いてほしい。」

「四、五ページ目では、記事に関係のある市民が登場しても、つづいていないが、まだまだ少ない」と思っている。

七月十五日号から、小学六年生の子供レポートが、小学今年募集されている川柳も掲載を始めると、市民の登場も、団体の役割

ふるさとみどり基金

昨年度は、市街地の歩道にフラワープランナーを設置、生け垣づくりの補助、住生活館としと文化会館、社会福祉基金を三基金として積み上げて始めてから九年が経ちました。

三基金は、市民協会のほか、寄附金や市の協賛からなり、その利子をもとに、各基金の目的にのぞいた事業を行っています。基本への寄付は、所得税法

3基金の積立状況

基金名称	寄付数	寄付金額	市の積立金	平成7年3月31日現在の積立額
ふるさとみどり基金	158 (20)	81,087,236 (6,792,187)	630,000,000	919,298,002
ふるさと文化基金	178 (15)	83,397,680 (2,207,023)	630,000,000	745,217,052
社会福祉基金	556 (51)	294,358,586 (15,173,296)	580,000,000	866,900,249

()内は平成6年度中の件数と金額

納めていますか

●国民年金 第一被保険者として国民年金に加入している自営業などの今回「広報レポート」体験してみたい「広報おだわら」の仕組み、発行過程の大きさに触れたのではなく、私たちが市民も気軽に紙面づくりに参加できる、ということ、また、▽写真をカラー化した、大きく扱ってもらいたい、手にとりやすい、読んでもらいたいことを重視している。

以上、いろいろな「試行錯誤」とありますが、皆さんは「広報おだわら」で、何か見えたり、感じたり、思ったり、何か気づかれましたか。皆さんが気づかれましたら、広報広聴課の方へ、手にとりやすい、読んでもらいたいことを重視している。

中小企業診断アドバイザーを派遣します

最近先上げが伸び悩んでいる。近々店舗の改装を予定している。効果的な販促促進のやり方について、具体的なアドバイスをほしい。

このように、専門知識と実務経験のあるアドバイザー(中小企業診断士)を派遣して、指導を助けます。

対象は、市内に活動する工場をお持ちの中小企業者、費用は市で負担します。

問い合わせ 商工課 ☎ 1511

免除制度をご存じですか

●収入が少な、保険料を納めるのが困難な方は、保険料を免除する「お気晴し」ご相談ください。なお、免除した期間中は、納めた場合の三割の一時で計算されます。また、十年以内でしたら、おまとめのこともできます。

問い合わせ 保険年金課 ☎ 1843

重度障害者医療証をお送りします

健康保険に加入している方で、一定の障害の認定を受けた方が、病院の自己負担額、入院時の食費の自己負担額を市が助成しています。

健康保険に加入している方で、一定の障害の認定を受けた方が、病院の自己負担額、入院時の食費の自己負担額を市が助成しています。

長寿のご夫妻に記念品

9月15日の「敬老の日」までに、結婚50年、結婚60年、結婚70年を迎えるご夫妻に祝い状と額縁をお贈りします。地区の民生委員にお申し出ください。

●対象 今年の9月15日までに、引き続き3か月以上同居しているご夫妻で、次のいずれかに当てはまる方。なお、婚姻届出がされていない場合も当てはまります。

○結婚50年 昭和19年9月16日～昭和20年9月15日の間に結婚したご夫妻

○結婚60年 昭和9年9月16日～昭和10年9月15日の間に結婚したご夫妻

○結婚70年 大正13年9月16日～大正14年9月15日の間に結婚したご夫妻

※過去に対象であったのに手続きを忘れてしまったご夫妻も今回お申し出ください。

●申出期間 6月28日(水)

●問い合わせ 高齢福祉課 ☎ 1841

民生委員に申し出を

救済金の受け取りを市役所2階の福祉総務課に申し出てください。

救済金は、日本赤十字社を通じて、被災地へ届けられます。

皆さんのご協力をお願いします。

問い合わせ 福祉総務課 ☎ 1863

サハラ地震救済にご協力を

救済金の受け取りを市役所2階の福祉総務課に申し出てください。

救済金は、日本赤十字社を通じて、被災地へ届けられます。

皆さんのご協力をお願いします。

問い合わせ 福祉総務課 ☎ 1863

救済金の受け取りを市役所2階の福祉総務課に申し出を

救済金の受け取りを市役所2階の福祉総務課に申し出てください。

救済金は、日本赤十字社を通じて、被災地へ届けられます。

皆さんのご協力をお願いします。

問い合わせ 福祉総務課 ☎ 1863

救済金の受け取りを市役所2階の福祉総務課に申し出を

救済金の受け取りを市役所2階の福祉総務課に申し出てください。

救済金は、日本赤十字社を通じて、被災地へ届けられます。

皆さんのご協力をお願いします。

問い合わせ 福祉総務課 ☎ 1863

救済金の受け取りを市役所2階の福祉総務課に申し出を

救済金の受け取りを市役所2階の福祉総務課に申し出てください。

救済金は、日本赤十字社を通じて、被災地へ届けられます。

皆さんのご協力をお願いします。

問い合わせ 福祉総務課 ☎ 1863

記事の中の印刷の番号は、くらしのテレフォンガイドサービス番号です。☎33-1266に電話をかけ、案内に従ってこの番号をダイヤルすると案内を聞くことができます。休日や夜間もご利用できます。

「広報おだわら」の「色使いや写真の活字など、工夫されているが、加減や効果はまだ把握できていない。紙面づくりをすれば、親しむ感を持ってはならないだろうか、もつと、市民の意見を聴いてほしい。」

「四、五ページ目では、記事に関係のある市民が登場しても、つづいていないが、まだまだ少ない」と思っている。

七月十五日号から、小学六年生の子供レポートが、小学今年募集されている川柳も掲載を始めると、市民の登場も、団体の役割



「広報おだわら」の「色使いや写真の活字など、工夫されているが、加減や効果はまだ把握できていない。紙面づくりをすれば、親しむ感を持ってはならないだろうか、もつと、市民の意見を聴いてほしい。」

「四、五ページ目では、記事に関係のある市民が登場しても、つづいていないが、まだまだ少ない」と思っている。

七月十五日号から、小学六年生の子供レポートが、小学今年募集されている川柳も掲載を始めると、市民の登場も、団体の役割

「広報おだわら」の「色使いや写真の活字など、工夫されているが、加減や効果はまだ把握できていない。紙面づくりをすれば、親しむ感を持ってはならないだろうか、もつと、市民の意見を聴いてほしい。」

「四、五ページ目では、記事に関係のある市民が登場しても、つづいていないが、まだまだ少ない」と思っている。

七月十五日号から、小学六年生の子供レポートが、小学今年募集されている川柳も掲載を始めると、市民の登場も、団体の役割

「広報おだわら」の「色使いや写真の活字など、工夫されているが、加減や効果はまだ把握できていない。紙面づくりをすれば、親しむ感を持ってはならないだろうか、もつと、市民の意見を聴いてほしい。」

「四、五ページ目では、記事に関係のある市民が登場しても、つづいていないが、まだまだ少ない」と思っている。

七月十五日号から、小学六年生の子供レポートが、小学今年募集されている川柳も掲載を始めると、市民の登場も、団体の役割

「広報おだわら」の「色使いや写真の活字など、工夫されているが、加減や効果はまだ把握できていない。紙面づくりをすれば、親しむ感を持ってはならないだろうか、もつと、市民の意見を聴いてほしい。」

「四、五ページ目では、記事に関係のある市民が登場しても、つづいていないが、まだまだ少ない」と思っている。

七月十五日号から、小学六年生の子供レポートが、小学今年募集されている川柳も掲載を始めると、市民の登場も、団体の役割

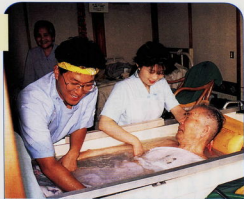
記事の中の印刷の番号は、くらしのテレフォンガイドサービス番号です。☎33-1266に電話をかけ、案内に従ってこの番号をダイヤルすると案内を聞くことができます。休日や夜間もご利用できます。

安心できる暮らしを

高齢者の元気を支える



小田原市でも、「高齢化」が着々と進んでいます。それは単に人口に占める高齢者の割合が高くなっているというだけでなく、けずけがありせん。ねたきりや痴呆ほう性などで、手助けを必要とする高齢者が増えているのです。高齢者がいつまでも元気で安心して暮らせるような地域社会づくりが求められています。



お変わりないですか？（訪問入浴サービス）

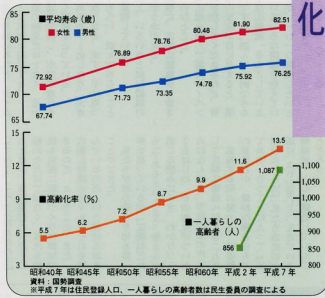
利用者の声

夫は、週に一回来てくれる訪問入浴をとても楽しみにしています。歩くことが難しくなってから入浴には苦労していたので、助かっています。

進む高齢化

総人口に占める六十五歳以上の人口の割合を「高齢化率」といいます。小田原市の高齢化率は、昭和四十年には五・五パーセントだったのが、三十年たった現在、十二・五パーセントにもなっています。子供の数が少なくなったことによりですが、この間に平均寿命は十歳近くも伸びたのです。

そして同時に、ねたきりや痴呆ほう性などで、介護を必要とする高齢者も増えています。



介護力のある社会へ

昔ながらの「家族」像は大きく変わり、家庭での介護力は低下してきました。核家族が増え、高齢者の一人暮らしが増えてきたこと、これまで主に介護の役割を担っていた女性の社会進出が進んでいることなどが、その背景にあります。このような介護力の低下は、健康な高齢者にとっても不安なことです。

地域ぐるみで支えよう

例えば、大きな地域が担ぎかたとき、近所の高齢者をたがが助けられますか？ なたきりにならないまでも、高齢者は日常生活に

在宅福祉サービスへ参加を

「一人の不幸も見逃さない」を合い言葉に、各区内社会福祉協議会の協力で、市内全域在宅福祉サービスチーム（二百三十チーム）ができました。地域の福祉ニーズや高齢者に関する情報を集め、温かい近隣扶助を働きかけます。活動に協力いただける方は、ぜひ社会福祉協議会にお電話ください。

- 調査活動
地域内の援護を要する人がどんな福祉サービスを求めているのかを調べます。
- 見守り活動
調査をもとに、必要と思われる人を対象に、訪問・安否確認などの見守り活動を行います。また、外出時の介助にも取り組みます。
- 問い合わせ
社会福祉協議会 ☎4000

城址を彩る植物の図象 小田原城紋章展「植物紋」

梅松松と、城公
園見られる植物を題材にした紋章を、小田原城址守閣で展示します。

身立在物を巧みに取り入れ、洗練された優美なデザインは、美術的にも高く評価されています。見事な図象化の手法や豊富な入り工、シロシロをお楽しみください。

●期間 6月17日(土)～18日(日)

●会場 小田原城址守閣

●入場時間 午前9時～午後5時(午後3分前場午後5時)

●入場料 無料

●協力 国産無形文化財継承事業協議会
天守閣史料館 大入道 80円・小100円

●問い合わせ 小田原天守閣 ☎3373

小田原花火大会 あなたの花火を打ち上げよう

小田原花火大会は、今年も8月8日(日)に酒匂川アズル1号広場で開かれます。

けたく動して楽しめる大会はもとよ、観覧席は市民の有志によるボランティアで、あなたも一口にきかけの観覧席を造ります。

●申し込み 参加費を現金で申し込む(6月1日必着)まで、小田原市観光課(〒220-0001小田原市山ノ上2-1)へお電話ください。

●問い合わせ 小田原市観光課 ☎502



ナースの世界へどうぞ 看護体験の男女高校生募集

市立病院は、今年も二日看護体験を開きます。看護に関心を持ち、高校生の皆さんを対象に、白衣を着て看護体験していただきます。看護への理解を深められるチャンスです。

●日時 7月25日(土) 27日(日) 28日(日) 3日(日)

●体験日は7月10日(月)～11日(火)まで

●申し込み 7月10日(月)～11日(火)まで

●問い合わせ 市立病院 看護課 ☎2250

けんこうコーナー

○問い合わせ申し込みは保健センター ☎470820へ

●成人病予防

40歳以上の方、基礎病が無く、乳がん検診の要否を先生に前にお話し下さい。職場など健康診断を受けていない方は受診して下さい。

●基礎病検査が有無検査除菌
○対象 40歳以上

●場所 健康レシヨ出張の指定医療機関
○持病の有無 要医師 保険証
○受診料 基本健康診断は無料

●検査項目
①胸がん、肺がん検診
②乳がん検診
③大腸がん、大腸がん検診
④子宮がん検診
⑤頸がん検診
⑥がん検診
⑦がん検診
⑧がん検診
⑨がん検診
⑩がん検診

健康おだわら普及員決まる

●普及員募集活動
●健康おだわら普及員募集活動
●健康おだわら普及員募集活動
●健康おだわら普及員募集活動
●健康おだわら普及員募集活動

- ※子宮部がん検診(1,000円)は、問診の結果医師が必要と認めない方には、無料で実施させていただきます。30歳未満の方でもできます。保健センターまで電話でお申し込みください。
- がん検診センター
○対象 40歳以上
○対象 40歳以上
○対象 40歳以上
○対象 40歳以上
- 予防接種
○予防接種を受ける方は、接種会場へ接種を受ける医療機関に、あらかじめ「予防接種」としての接種を「寛」なつて接種を受けてください。
- 予防接種
○接種会場
○接種会場
○接種会場
○接種会場

- 献血
○献血
○献血
○献血
○献血
- 献血
○献血
○献血
○献血
○献血
- 献血
○献血
○献血
○献血
○献血
- 献血
○献血
○献血
○献血
○献血

●乳幼児健診 7月 561~564

※1人1歳の子どもが健診を受けること。集団健診は申し込みで受診開始時刻までお集まりください。(3ヶ月健診は全員受診)

※3か月児・3歳児健診は必ず、母子手帳の診察票に必要事項を書いてください。

※1歳6ヶ月児・1歳児健診時に、歯科健診を行います。また、3歳児健診時には尿検査もあります。

健診名(生まれ年月)	会場	時間	生まれた日	実施日
3か月児(7年3月生まれ)	小田原保健所	13:00~14:00	1-7 6-15 16-23 24-末	13日 20日 27日
7か月児(7年11月生まれ)	保健センター	13:00~14:00	1~10 11-20	21-末 25日
1歳6か月児(15年12月生まれ)	保健センター	13:00~14:00	1-7 8-15 16-23 24-末	7日 14日 21日 26日
3歳児(4年8月生まれ)	小田原保健所	13:00~14:00	1~10 11-20	21-末 4日 11日 18日

●結核健康診断 571

職場や学校で結核健診のない方は、もよりの会場で受診してください。

●印の会場では、希望で血圧測定・健康診断も行います。

▽対象 16歳以上の方

▽日程・会場

日	会場	午前	午後
3日(木)	栄町・相原興業前	2 4	2 区公民館
5日(土)	藤井 藤井 藤井	2 1 区公民館	藤井 藤井
7日(月)	はなぞの幼稚園	2 5 区公民館	藤井 藤井
6日(日)	益田 益田 益田	2 5 区公民館	藤井 藤井
12日(土)	益田協賛会事務所	2 5 区公民館	藤井 藤井
13日(日)	福井住友宅業会	2 5 区公民館	藤井 藤井
14日(月)	清防北 分室	2 5 区公民館	藤井 藤井
17日(木)	益田協賛会事務所	2 5 区公民館	藤井 藤井
18日(金)	益田協賛会事務所	2 5 区公民館	藤井 藤井
19日(土)	西郷山公民館	2 5 区公民館	藤井 藤井
20日(日)	藤井 藤井 藤井	2 5 区公民館	藤井 藤井

●時間 午前9時30分~11時、午後1時30分~3時
●時間は延長して行うことがあります。

●休日診療カレンダー

受付 午前9時~11時30分
午後1時~3時30分
健康保険証をお忘れなく!

日	内科	小児科	耳鼻科	眼科	歯科
6月 18日(日)	○	○	○	○	○
25日(日)	○	○	○	○	○
7月 2日(日)	○	○	○	○	○
9日(日)	○	○	○	○	○
16日(日)	○	○	○	○	○
23日(日)	○	○	○	○	○
30日(日)	○	○	○	○	○

※夜間診療く内科・小児科への受付は、毎日午後7時~10時
●休日急患診療所 ☎470823
●休日急患診療所 ☎470825
●休日急患診療所 ☎470826

●問い合わせ先
おだわら保健センター
〒319-0100 小田原市大宮1-1-1
☎470820

●リサイクル情報
おだわら保健センター
〒319-0100 小田原市大宮1-1-1
☎470820

●リサイクル情報
おだわら保健センター
〒319-0100 小田原市大宮1-1-1
☎470820

生き物にちなんだ名前を タウンセンターの愛称募集



●応募方法 市役所・支所・連絡所にある応募用紙、または官路にある「愛称」紙、または理由、住所、氏名、電話番号、職業または学校名を記入し、締め切り、六月三十日(金)まで、おだわら市役所(〒250-0001)に送付してください。
(当日消印有効)

●発表 広報おだわら九月号に掲載される予定です。採用された方(複数)の場合は抽選で十人程度に記念品を贈ります。

●応募先 町内各センターの愛称を募集します。

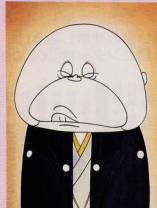
●この施設は、平成八年はじめにオープンする予定です。地上三階地下一階、延床面積が約八千平方メートルです。市民図書室をはじめ、多目的ホール、児童室、創作室、スタジオなどが備えられます。また、行政窓口としての機能も果たします。生産学習やスポーツ、ふれあいの交流や地域づくりなどのいろいろな活動に利用できます。

●環境にやさしく、ちなんだ、動物や植物など、生き物に由来する親しみやすい愛称をつけたい。

●応募できるのは、市内に在住する方です。

時の顔

絵：近藤信一
(飯田町在住)



柳家小さん (人間国宝)

小田原の自然再発見(2)

白当たりのよい草地に生育し、梅雨の晴れ間に発る紫色の花は、季節の訪れを告げてくれます。花穂のようすが、弓矢を入れる駒に似ているのでこの名前があり、裏になるので花穂とも呼ばれています。利尿剤としても利用され、かつては、家の軒先にぶら下がっているのを見ることができました。
(教員研究所研究員 松岡輝彦)



草地に咲くツボクサ

集中豪雨に備えよう!



大雨情報を聞いたと、早くも準備して、いざという時に安全に避難ができるように、日ごろから家族で話し合っておくことが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報にはよく目をつけてください。
- 市や関係機関の広報(注意)をよく読んでください。
- 外出している家族と十分連絡をとってください。
- 危険な土地では、いつでも避難できるように準備を整えておきましょう。
- 問い合わせ 防災対策課 ☎1855

大雨情報をキツツし たら、わが家の安全対策を!



大雨情報は、事前に準備しておくことが大切です。大雨情報は、事前に準備しておくことが大切です。大雨情報は、事前に準備しておくことが大切です。

防災講演会

阪神・淡路大震災の被災地で実際に活動をした職員の見聞報告会と講演会を開催します。

- 日時 7月6日(木) 午後1時30分～4時
- 会場 中央公民館ホール
- 職員講演会 午後1時40分～2時40分
- 特別講演 午後2時50分～ 「阪神からの提言—神奈川県西部地震に備えて—」
- 講師 吉井博明さん(文教大学教授)
- 参加料 無料
- 問い合わせ 防災対策課 ☎1855

水防工法訓練

いつ発生するかわからない水害に備え、集落内、水防工事、団員による水防工法訓練を行います。

- 日時 7月7日(日) 午前9時～正午
- 場所 酒匂川右岸東町(地内、香川橋上側)
- 問い合わせ 消防本部 ☎4410

なぜ取り壊すの? 観覧車と飛行塔



観覧車は、45年前に建設されたもので、とても古くなっています。この観覧車を取り壊すことになりましたが、中世の遺構に非常によく似た、直下地帯が起きていることに、大規模な耐震工事ができると、観覧車を取り壊すことにしました。

老朽化し倒壊が心配 お城は国民みんなの財産

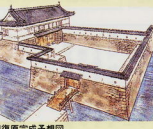
お城は長い期間かけて整備されています。メリカカー、ベビーカー、自動車は今でもお役にたっています。また、緑豊かな自然環境の中で、子供たちが遊ぶのに、小田原ラフターガーデンが活躍しているほか、これが止り植物園の近くに(飯橋小田原)の近くには公園があります。

銅門石垣崩落の原因と対策

史跡小田原城銅門復旧工事中の石垣崩落事故は、崩落した大変な心配をおかけしました。その後、専門業者に調査を依頼したり、市議員「調査—銅門検討委員会—」を立ち上げ、事故原因を明らかにして、復旧方法を検討してきました。



観覧車と飛行塔は、45年前に建設されたもので、とても古くなっています。この観覧車を取り壊すことになりましたが、中世の遺構に非常によく似た、直下地帯が起きていることに、大規模な耐震工事ができると、観覧車を取り壊すことにしました。



銅門復原完成予想図

銅門石垣崩落の原因と対策
史跡小田原城銅門復旧工事中の石垣崩落事故は、崩落した大変な心配をおかけしました。その後、専門業者に調査を依頼したり、市議員「調査—銅門検討委員会—」を立ち上げ、事故原因を明らかにして、復旧方法を検討してきました。

観覧車と飛行塔は、45年前に建設されたもので、とても古くなっています。この観覧車を取り壊すことになりましたが、中世の遺構に非常によく似た、直下地帯が起きていることに、大規模な耐震工事ができると、観覧車を取り壊すことにしました。